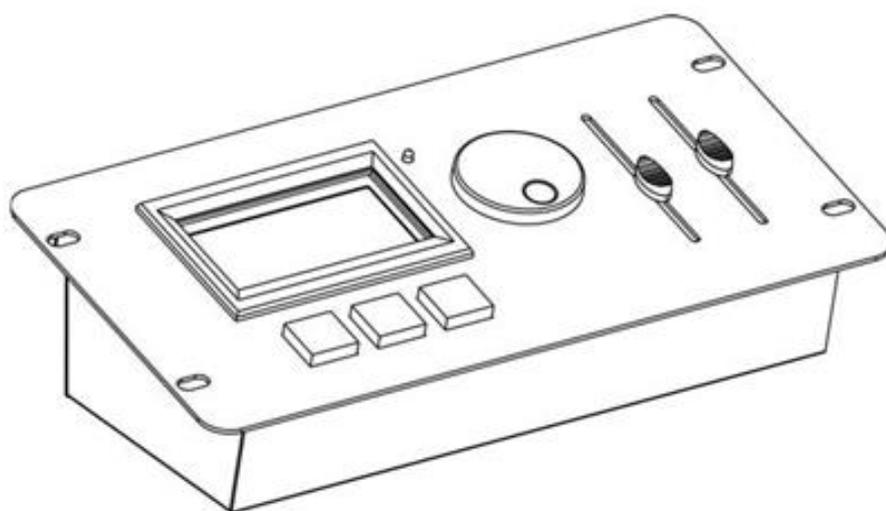




DRMINI

取扱説明書 V1.00



株式会社サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476-89-1111 FAX:0476-89-2222

はじめに

この度は、STAGE EVOLUTON DRMINI をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
DR MINI は、リアルタイムで DMX 信号を記録することができる DMX レコーダーです。
本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前に
この取扱説明書を必ずお読み下さい。

基本仕様

- ・ DMX 信号をリアルタイムで記録
- ・ コンパクトフラッシュを使用可能 (FAT16)
- ・ クロック機能内蔵
- ・ MIDI でトリガー可能

製品仕様

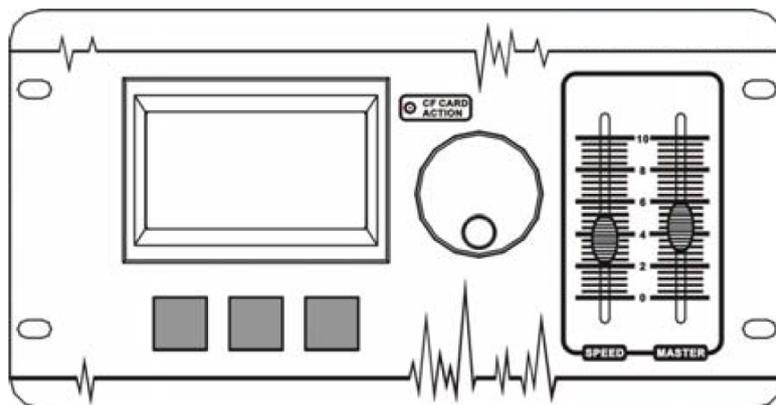
モデル	DRMINI
MIDI 端子	DIN 5PIN
DMX 出力端子	3PIN XLR
電源アダプター入力	DC12V 500mA
寸法	255 × 133 × 66 mm
重量	1.5kg

使用上のご注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常が認められる場合は本製品の使用を中止し、販売店にご相談ください。
2. 本製品は必ず安全で、安定した場所に設置してください。電源ケーブルは、踏まれたり挟まれたりすることのない場所に設置してください。
3. 接続がすべて完了してから、本製品の電源を入れてください。
4. 電源アダプターは、付属のもの以外使用しないでください。
5. 本製品を他の機材と接続する際は、必ず電源ケーブルをコンセントから外してください。
6. ケーブルを抜き差しする際は、必ずコネクタ部を持って行ってください。
7. AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。
8. デイマーパックからの電源供給は行わないでください。
9. 本体カバーを外さないでください。
10. 本製品は屋内専用です。屋外で使用した場合は保証対象外となります。
11. 周辺温度が 40 度を超える環境では使用しないでください。
12. 壁から約 15cm 以上離し、通気性の良い場所に設置してください。
13. 布やシート等を被せないでください。また周辺に可燃物や爆発物、温度の高い物等を置かないようにご注意ください。
14. 本製品に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようにご注意ください。感電や火災の原因となります。
15. 長時間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから外してください。
16. 故障が生じた場合は、販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。

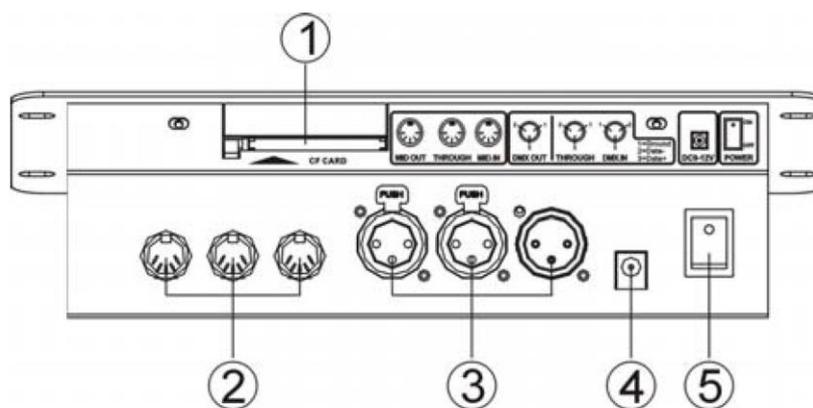
コントロールおよび機能

フロントパネル



- LCD ディスプレイ : 現在のステータスや、利用することができる選択肢を表示します。
- ファンクションボタン : 機能の呼び出しや、確定をします。
- ジョグホイール : 機能の切り替えやチャンネルの選択をします。
- フェーダー : チャンネルの値や再生スピードの調整を行います。

リアパネル



1	CF カードスロット	4	DC 入力
2	MIDI 入力/スルー/出力端子	5	電源スイッチ
3	DMX 入出力端子		

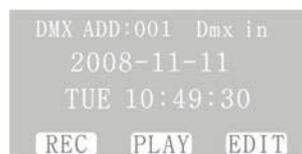
操作ガイド

DRMINI は DMX 信号を、編集・再生用に、リアルタイムでレコーディングをすることができます。リハーサルの時に DMX 信号をレコーディングしておき、本番で DMX コントローラーの電源がオフ、または DMX 信号が出力されなくなると、コントローラーの DMX 信号が戻るまで、自動で DMX 信号を出力することもできます。DRMINI は、オペレーターのないアウトドアや、施設の外壁照明等に使用することも可能です。

パネルには、3 つのファンクションボタンがあり、LCD ディスプレイには、DRMINI の機能や設定が表示されます。

Startup ビュー

DRMINI の電源を入れると run モードに入ります。コントローラーのカレンダーが設定されているのであれば、メインフォームに現在の日時が、また、画面下には、3 つのファンクションボタンに対する機能が表示されます。



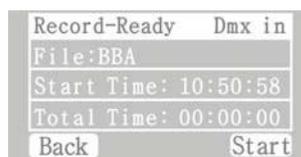
Record モード

「REC」ボタンを押すことにより、Record モードに入ります。左上に「Record」と表示されます。

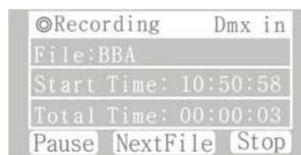
1. ファイル名を設定します。ジョグホイールを回して文字を選択。「◀▶」ボタンとジョグホイールを使いカーソルを移動します。8文字までのファイル名を指定することができます。ファイル名を設定した後に、「OK」ボタンを押してファイルを保存します。同じファイル名がある場合、上書きするかどうかを決めます。



- 「Start」ボタンを押すことにより、レコーディングを開始します。レコーディングが始まると「Recording」が点滅します。メモリー容量の関係により、DMX 信号の入力が無い場合は、Total Time は変わりません。DMX 信号の状態は、右上に表示されます。



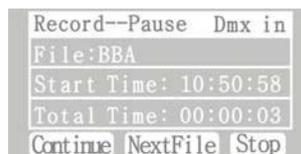
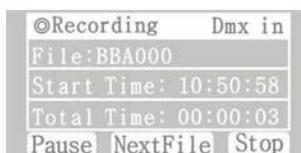
- 「Stop」ボタンを押すと、レコーディングを終了してよいか確認の画面が表示されます。「Yes」ボタンを押すことにより、レコーディングが終了し、ファイルに保存されます。



- 「Next File」ボタンを押すと、ショートセクションとして、自動的にファイル名を生成します。

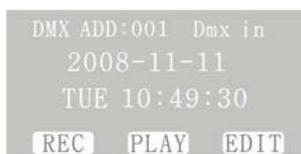


- Pause/Continue ボタンを押して、レコーディングの一時停止、または、再開をします。

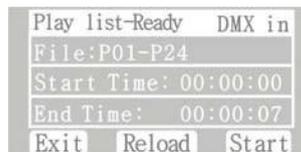


Playモード

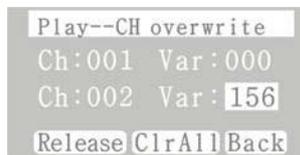
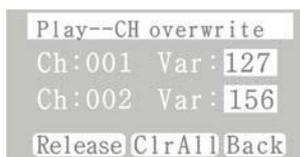
- コントローラーを立ち上げ、「Play」ボタンを押して、プレイモードに入ります。



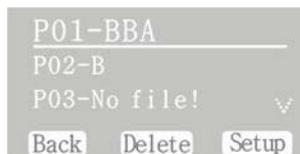
- ジョグホイールを回し、1つまたは複数のファイルを選択し「OK」ボタンを押します。「Start」ボタンを押して、ファイルを再生するか「Reload」ボタンを押してファイルをリロードします。



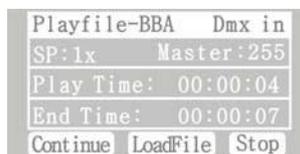
3. 「Reload」を長押しすると「CH overwrite」と表示されます。ジョグホイールを回してチャンネルを選択し、スピードフェーダーとマスターフェーダーを使い値を変更します。「Release」ボタンを押しながらフェーダーを操作することで値を 0 にすることができます。「ClrAll」ボタンを押すことですべての設定をクリアすることができます。



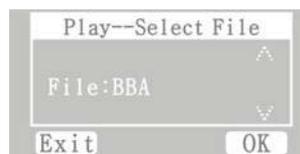
4. 複数のファイルを再生する場合は、「File-List」を押して、ファイルのシーケンスを設定します。ジョグホイールを使い、シーケンスナンバーを変更します。「Delete」ボタンで設定を削除、「Setup」で設定を変更します。



5. 「Stop」ボタンと「Yes」ボタンで再生を停止、「Pause/Continue」ボタンを押すことで再生再開と一時停止をします。

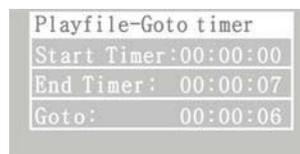


6. 「LoadFile」を押すことで、異なるファイルを選択することができます。新しいファイルを再生する場合、前のファイルは停止します。

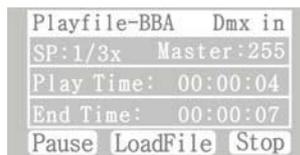


7. Adjust play : 「Pause」ボタンを押しながら、ジョグホイールを回すことにより、スタートタイムを調整することができます。

8. 「Pause」ボタンを押しながらスピードフェーダーを操作することで、プログラムのスピードを調整することができます。フェーダーを押すことで、ノーマルスピードに戻すことができます。



9. 「MASTER」フェーダーを調整し、最大出力の値を設定します。この機能は、「Master channel」を enable に設置している場合のみ有効です。



10. Play モードをセットします。

- A. Solo run モード

DRMINI 単独で動作します。

- B. DMX monitor モード

DRMINI は、DMX コントローラーと同時に起動します。

(DMX コントローラーからの信号がない場合にのみ有効です。)

- C. DMX in run モード

DMX コントローラーからの信号が 0 でない場合、DRMINI は、信号を受け取ります。

HTP/LTP モードの設定に基づいて DMX 値を出力します。

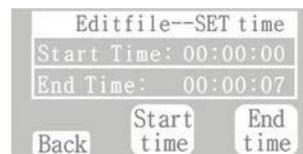
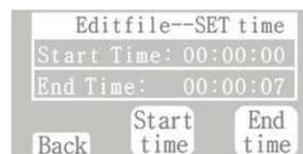
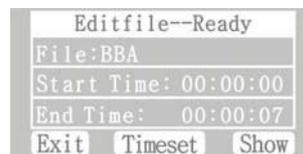
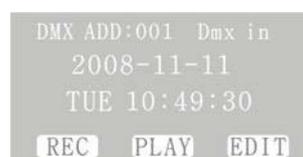
D. DMX trigger モード

プログラム起動のために DMX アドレスを設定します。設定されたアドレスの値が 150 以上でプログラムが起動、100 以下でプログラムが停止します。1 つのプログラムのみ有効です。

Edit モード

DRMINI を起動し「Edit」ボタンを押すことにより、Edit モードに入ります。ファイルのスタートポイントの設置等を行います。

1. 「Edit」ボタンを押します。ジョグホイールを回してファイルを選択、「OK」ボタンを押します。
2. 「Show」ボタンを押すことで、プログラムのプレビューができます。「Stop」ボタンで停止、「Pause/Continue」ボタンを押すことで、一時停止、再開を行います。
3. ジョグホイールを回して、スタートタイムを調整します。「Goto」ボタンで決定、「Cancel」ボタンでキャンセルとなります。
4. Edit モードでは、「Timeset」ボタンを押すことで、スタートポジションとエンドポジションをセットすることができます。「Start time」ボタンを押し、ジョグホイールをセットします。設定後「Save」ボタンを押します。キャンセルの場合は、「Cancel」ボタンを押してください。同様に「End time」ボタンを押してエンドポジションを設定します。



※Edit 機能は、再生時間を変えるだけで、元のプログラムは変わりません。録音をしたプログラムの一部だけを再生することができます。長いファイルは、多くのメモリーを消費し、ロードに時間がかかります。

Menu

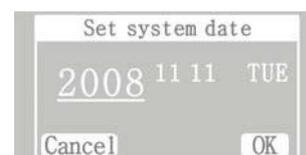
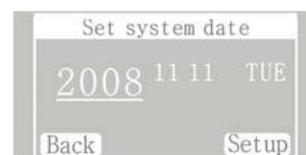
「Edit」ボタンを3秒以上長押しすることで、Menuモードに入ります。
16種類のメニューがあります。



1. Set date : 日付の設定を行います。
2. Set time : 時間の設定を行います。
3. Set clock : タイマーの設定をします。
4. Set run mode : プレイバックの設定を行います。
5. Set play mode : プレイモードの設定を行います。
6. Set CH mode : HTP/LTP モードの設定を行います。
7. Trigger file : トリガーさせるファイルを設定します。
8. MIDI address : Midi のチャンネルを設定します。
9. DMX address : DMX アドレスの設定を行います。
10. Master channel : Master チャンネルの設定を行います。
11. CH overwrite : ファイルをオーバーライドします。
12. Master/Slave : Master/Slave の設定を行います。
13. Start status : 起動時のステータスを設定します。
14. Lock keyboard : キーをロックします。
15. Delete file : ファイルを消去します。
16. Del all set : セッティングを削除します。

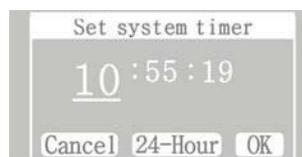
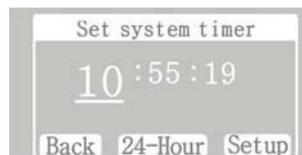
日付設定

1. Menuモードに入ります。
2. ジョグホイールを使い、「1. Set date」を選択し、「Enter」ボタンを押します。
3. ジョグホイールを押してカーソルの位置を変更し、「Setup」ボタンを押して、年、月、日を設定します。設定後、「OK」ボタンを押して確定させます。
4. 「Back」ボタンを押してメインメニューに戻ります。

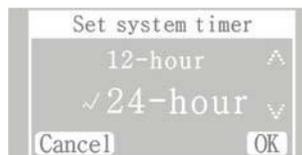


時間設定

1. Menu モードに入ります。
2. ジョグホイールを回して「2. Set time」を選択し、「Enter」ボタンを押します。
3. ジョグホイールを回してカーソル位置を変更し「Setup」ボタンを押して、時、分、秒を設定します。設定後、「OK」ボタンを押して確定させます。



4. 「24-Hour」か「12-Hour」を押して、タイムフォーマットを変更します。ジョグホイールを回して値を変更し、「OK」ボタンを押して確定させます。
5. 「Back」ボタンを押して、メインメニューに戻ります。

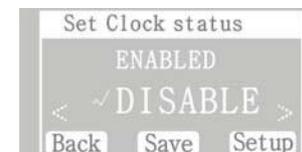


タイマー設定

1. Menu モードに入ります。
2. ジョグホイールを回して「3. Set clock」を選択し、「Enter」ボタンを押します
3. タイマーの ON/OFF、タイマーの起動回数、起動日時、停止日時を設定することができます。「Setup」ボタンを押して設定を行います。最大で 1 日 3 回、1 週間に 21 回のタイマーをセットすることができます。

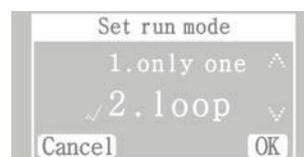
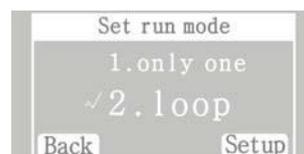


4. 「Save」ボタンを押して確定させます。
5. 「Back」ボタンを押して、メインメニューに戻ります。



Set Run モード

1. Menu モードに入ります。
2. ジョグホイールを回して「4. Set run mode」を選択し、「Enter」ボタンを押します。
3. 「Setup」ボタンを押して、「only one」または、「loop」を選択します。
4. 「OK」ボタンを押して、確定させます。
5. 「Back」ボタンを押して、メインメニューに戻ります。



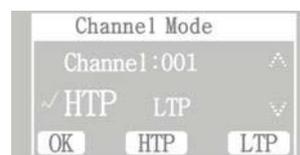
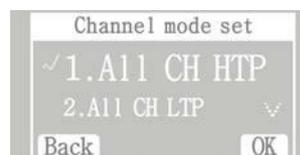
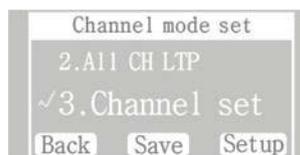
Set Play モード

1. Menu モードに入ります。
2. ジョグホイールを回して「5. Set play mode」を選択し、「Enter」ボタンを押します。
3. 「Setup」ボタンを押し、「Solo run」「DMX monitor」「DMX in run」「DMX/MIDI trigger」のいずれかを選択します。
4. 「OK」ボタンを押して、確定させます。
5. 「Back」ボタンを押して、メインメニューに戻ります。



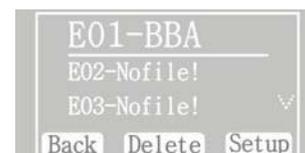
Set CHモード

1. Menuモードに入ります。
2. ジョグホイールを回して「6. Set CH mode」を選択し、「Enter」ボタンを押します。
3. 「Setup」ボタンを押し、「All CH HTP」「All CH LTP」「Channel set」のいずれかを選択し、「OK」ボタンで確定し「Save」ボタンで設定を保存します。
4. 「Channel set」を選択した場合、各チャンネルごとにHTP、LTPの設定を行います。
5. 「Back」ボタンを押して、メインメニューに戻ります。



Trigger ファイル

1. Menuモードに入ります。
2. ジョグホイールを回して「7. Trigger file」を選択し、「Enter」ボタンを押します。
3. ジョグホイールを回し、「E01」から「E24」の1つを選択し、「Setup」ボタンを押します。
4. 「OK」ボタンを押して、確定させます。
5. 「Delete」ボタンを押して、トリガーを解除することができます。
6. 「Back」ボタンを押して、メインメニューに戻ります。



この設定は、DMX/MIDI triggerモードのみにおいて有効です。E01は、DMXのChannel1、E02は、DMXのChannel2に対応します。MIDIの場合は、Note No 40から63に対応します。

Midi address

1. Menu モードに入ります。
2. ジョグホイールを回して「8. MIDI address」を選択し、「Enter」ボタンを押します。
3. 「Setup」ボタンを押して、MIDI のアドレスを設定します。
4. 「OK」ボタンを押して、確定させます。
5. 「Back」ボタンを押して、メインメニューに戻ります。



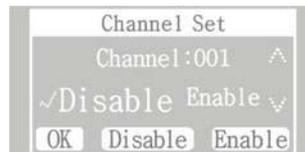
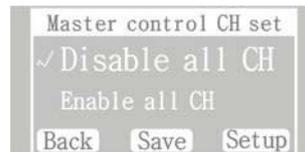
DMX address

1. Menu モードに入ります。
2. ジョグホイールを回して「9. DMX address」を選択し、「Enter」ボタンを押します。
3. 「Setup」ボタンを押して、DMX アドレスを設定します。
4. 「OK」ボタンを押して、確定させます。
5. 「Back」ボタンを押して、メインメニューに戻ります。



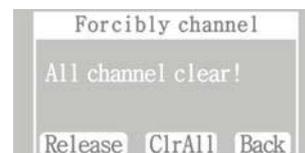
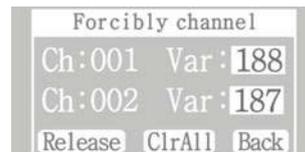
Master channel

1. Men モードに入ります。
2. ジョグホイールを回して「10. Master channel」を選択し、「Enter」ボタンを押します。
- 3.
4. 「Setup」ボタンを押し、「Disable all CH」「Enable all CH」「Channel set」のいずれかを選択します。
5. 「OK」ボタンを押し、確定させます。
6. 「Save」ボタンを押し、設定を保存します。
7. 「Back」ボタンを押し、メインメニューに戻ります。



CH overwrite

1. Menu モードに入ります。
2. ジョグホイールを回して、「11. CH overwrite」を選択します。
3. ジョグホイールを回して、チャンネルを選択します。
4. SPEED/MASTER フェーダーを使い、値を変更します。「Release」ボタンを押しながら、フェーダー操作を行うと、値は 0 になります。「ClrAll」ボタンを長押しすることで、すべての設定をクリアすることができます。
5. 「Back」ボタンを押します。
6. 設定を上書きする場合は「Yes」を、キャンセルする場合は「No」を押します。



Master/Slave

1. Menu モードに入ります。
2. ジョグホイールを使い「12. Master/Slave」を選択し「Enter」ボタンを押します。
3. 「Setup」ボタンを押して、「Master」「Slave」のいずれかを選択します。
4. 「OK」ボタンを押します。
5. 「Back」ボタンを押して、メインメニューに戻ります。



複数のユニットを同期させてレコーディング/再生させることができます。Master ユニットの MIDI OUT から Slave ユニットの MIDI IN へ接続します。Slave から Slave ユニットまでは MIDI Through から MIDI IN へ接続できます。設定後は Master ユニットからレコーディング/再生ができます。同じファイル内容の CF カードか確認してください。

Start Status

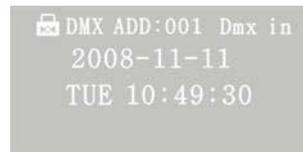
1. メニューモードに入ります。
2. ジョグホイールを使い、「13. Start status」を選択します。
3. 「Enter」ボタンを押します。
4. 「Setup」ボタンを使い、「Master」「Slave」のいずれかを選択します。
5. 「OK」ボタンを押して、確定させます。
6. 「Back」ボタンを押して、メインメニューに戻ります。



キーボードロック

1. メニューモードに入ります。
2. ジョグホイールを使い、「14. Lock keyboard」を選択します。
3. 「Enter」ボタンを押します。
4. 「Setup」ボタンを押して、「Enable」「Disable」のいずれかを選択します。
5. 「Back」ボタンを押して、メインメニューに戻ります。

キーボードロックは本体を再起動すると反映されます。キーは自動的にロックされ、LCD の左上に状態が表示されます。本体のボタン3つを同時に押す事で、ロックの ON/OFF を切り替えられます。



Delete file

1. メニューモードに入ります。
2. ジョグホイールを使って、「15. Delete file」を選択します。
3. 「Enter」ボタンを押します。
4. ジョグホイールを使い、削除したいファイルを選択します。
5. 「Delete」ボタンを押します。
6. 再度、消去してよいか確認されるので「Yes」ボタンを押してください。
7. 「Back」ボタンを押して、メインメニューに戻ります。



Delete all set

1. メニューモードに入ります。
2. ジョグホイールを使い、「16. Del all set」を選択します。
3. 「Enter」ボタンを押します。
4. ジョグホイールを使い、「Yes」「No」のいずれかを選択します。
5. 「Yes」を押すとメインメニューに戻ります。



